

科目名	社会的養護		担当教員	水鳥川 洋子		
			担当形態	単独		
テキスト	新保育ライブラリ社会的養護・新版（北大路書房）	単位数 授業形態	2単位 講義	開講時期	後期	
<p>講義概要</p> <p>■到達目標■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの社会的養護をめぐる現状（特に虐待問題）を知り、保育所、学校、施設の新たな役割を認識し書き表せる。 ・社会的養護の制度・実施体系及び歴史を学び、基礎的な知識を身につけ説明できる。 ・児童福祉施設の現状と課題を理解し、これからの児童養護のあり方について自らの考えをもつことができる。 <p>■授業のテーマ及び概要■</p> <p>社会的養護の理念は「子どもの最善の利益のために、社会全体で子どもを育む」ことであるが、そのことの意味、そして、そこでの保育士の役割を実感的に理解するために、現代の子育てをめぐる社会状況や児童福祉施設の現状を学び、今後の社会的養護及び保育士のあり方を考えていく。</p> <p>■授業計画■</p> <p>第1回 社会的養護とは何か・・・社会的養護の対象と体系</p> <p>第2回 児童虐待問題① 現代の子育てと児童虐待の現状</p> <p>第3回 児童虐待問題② 虐待を受けた子どもたちの様相と施設等の役割</p> <p>第4回 社会的養護の歴史① 古代から明治期まで</p> <p>第5回 社会的養護の歴史② 明治期から現代まで</p> <p>第6回 児童相談所の役割</p> <p>第7回 養育環境に問題がある児童の施設養護①（乳児院）</p> <p>第8回 養育環境に問題がある児童の施設養護②（児童養護施設・母子生活支援施設）</p> <p>第9回 情緒・行動面に問題がある児童の施設養護（児童自立支援施設・情緒障害児短期治療施設）</p> <p>第10回 障害のある児童の施設養護①（福祉型障害児入所施設）</p> <p>第11回 障害のある児童の施設養護②（医療型障害児入所施設）</p> <p>第12回 家庭的養護（里親・ファミリーホーム・自立援助ホーム）</p> <p>第13回 家庭養育を支援する施設（児童発達支援センター・児童家庭支援センター）</p> <p>第14回 社会的養護の理念と課題、今後の方向性</p> <p>第15回 まとめ、試験</p> <p>■準備学習■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待等の社会問題や子育てに関連する報道に関心を持ち、理解しておくこと。 ・次回の授業内容について、テキストの該当箇所を読んでおくこと。 ・毎回の授業のプリントを見直し、自分なりに説明できるようにすること。 <p>■評価方法■</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み（毎回の感想文）— 10% ・期末テスト — 90% 						
参考文献	授業中に適宜紹介する。	特記事項	特になし			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼				
		保	保育の本質・目的に関する科目			